

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
会報

第7号 '07.2.1

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依田浩敏

◆ 第3回理事会報告

去る11月3日、本年度の第3回理事会を近畿大学において理事9名（うち委任状提出者1名）が出席し開催しました。以下理事会の概要をご報告します。

1 協議事項

（1） 事業の進捗について

事業担当理事が本年度事業の進捗状況について報告した後、協議のうえ当初計画どおり事業を推進していくこととした。

- ① 環境教育・学習の支援について（武藤副理事長報告）：県立伝習館高校の依頼で松井副理事長、碓井町の依頼で植木理事をそれぞれ講師派遣した。今年度から講演等を行った場合、講師に報告書の提出をお願いしている。
- ② 北九州市環境ミュージアム未来ホテルデー市民自主企画出展について（津田理事報告）：6月3～4日に出席し124名の参加者があった。今後は開催を周知し多くの会員に参加してもらうようにしたい。
- ③ ホームページの拡充及び会報発行について（植木理事報告）：いたずら等がひどいので一旦停止しプログラムの改善を行った。会報については8月に100部発行し、会員、関係機関（他県協会、関係部署）県庁、県庁記者クラブ等へ配布した。次回は2月発行予定。シリーズものの掲載をしたいので良い案をお願いしたい。
- ③ 県地球温暖化防止活動推進員の防止活動、組織運営に関する助言、指導及び防止技術の支援について（依田理事長報告）：3回の推進員研修会において小学5年生対象の環境学習プログラム作成を支援した。

- ④ 福岡地域子どもエコクラブ活動促進プロジェクトについて（依田理事長報告）：県の公募事業に応募したが不採用。

- ⑤ 中間報告未提出の事業については担当理事へ早急に提出を要請する。

（2） 平成19年度事業助成金の申請について

今後の事業拡大のため積極的に利用することとした。

（3） 選挙管理委員の選任について

来年度は役員改選となるため仁上 隆、北森成治、武藤博昭の3氏を選挙管理委員に推薦し理事長が委嘱することとなった。

2 その他

次の事項について承認、報告等があった。

- ① ECU創設10周年、全国連合会5周年記念事業に伴う臨時会費納付を承認。
- ② 筑紫保健福祉環境事務所運営協議会委員への応募を承認。
- ③ ECU九州ブロック主催、環境教育指導者セミナー実行委員会報告。
- ④ ECUインストラクターセミナー開催計画報告。
- ⑤ 平成19年度子どもエコクラブ全国フェア開催計画報告

支所だより

【福岡支所】

・福岡市地球温暖化防止市民会議主催市民大会 3月開催予定

昨年加入しました地球温暖化対策推進法第 25 条により地方公共団体、都道府県センター、事業者、地球温暖化対策活動を行う NPO 等で結成されている「福岡市地球温暖化防止市民協議会」の地域・生活部会（部会長、当協会監事 吉田順子カウンセラー）では 3 月中旬に「平成 18 年度市民大会シンポジウム」の開催を計画しています。2 月にはご案内いたします。多くの皆様の参加をお願いします。

・米国ドキュメンタリー映画「不都合な真実」の試写会に参加

昨年 12 月福岡支所会員に案内しました環境保全関係者による「不確実な真実」の試写会（トリアス久山にて）に参加したので内容を紹介します。

この物語は、地球温暖化により世界中で引き起こされる数々の問題に多くの政治家が耳を貸そうとしない“不都合な真実”に心を痛めた米国の元副大統領、アル・ゴワ氏が、スライド講演を世界中で開き、私達が暮らしの中で小さな努力を重ねることで、地球を変えていけると人々の意識改革に立ち上がった孤独のサムライの勇気と希望に満ちた闘いを温かい視点で見せる異色の作品です。

最新の豊富なデータにより分かり易い説明とコミュニケーションに優れた政治家の説得力は「健全な危機意識」の醸成活動を担う環境カウンセラーとして必見に値する作品です。

本年度アカデミー賞（ドキュメンタリー部門）の最有力候補と話題になっています。1 月 20 日より全国の TPHO シネマーズにてロードショウ公開されます。

福岡支所長 松井亮二

福岡県温暖化防止活動推進員活動報告

福岡県では「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 23 項 1 項に基づき、知事より委嘱を受けた 107 名の地球温暖化防止活動推進員が平成 17 年より活動を開始しています。今年度の主な事業は

1. 3 回研修。

自己啓発ということで 7 月の講義と 9 月の現場視察と 10 月の実践研修。環境教育プログラム集作成を目標に一丸となって勉強をしました。特に 3 回目のプログラムづくりでは豊かな経験に基づいた貴重なプログラムがたくさん提案されました。

その後、アドバイザーを中心に編集作業が行なわれ、今年度中には副教材として発刊の予定です。



2. エコライフ県民学習会開催支援

家庭の温暖化対策として、省エネ家電への買換えが有効であることを多くの消費者に理解してもらうために県下4箇所（北九州市、福岡市、久留米市、飯塚市）で開催された学習会への参加者を募ったり、内容を盛り上げてゆきました。



3. 省エネ家電買換えキャンペーン支援活動

キャンペーン協力家電販売店や自治体環境イベントにて、地球温暖化防止活動推進員が省エネ家電普及に関する啓発活動を行いました。

県下17箇所で実施された啓発活動では、消費者に対して、啓発資料やチラシを使って省エネラベルの説明を行ったり、省エネ家電に関するアンケートを行いました。（アンケート協力者数 約1200名）

田川市 ベスト電器にて
（文責：植木）

ECU（環境カウンセラー全国連合会）・九州のカウンセラー協会だより No3

平成18年5月25日、鹿児島にもカウンセラー協会が立ち上がりました。

現在、九州のカウンセラー団体は以下の6団体のようです。どんどん交流を図りたいと考えています。今後、本会報に団体のご挨拶をいただければと思っています。

【九州・沖縄】

九州	NPO 法人九州環境カウンセラー協会	092-583-7273
九州・沖縄	NPO 法人環境カウンセラー九州実践家ネットワーク	092-433-2308
福岡県	NPO 法人ふくおか環境カウンセラー協会	092-925-5344
長崎県	NPO 法人環境カウンセリング協会長崎	095-828-2810
大分県	NPO 法人大分環境カウンセラー協会	0977-27-5670
鹿児島県	鹿児島県環境カウンセラー協会	050-3354-0811

活 動 報 告

カウンセラー内部の方ではありませんが、我々と大いにつながりのある環境省九州事務所環境対策課長、照屋規舒(てるやのりゆき)さまのご挨拶をいただきました。

ふくおか環境カウンセラー協会会報への寄稿について

九州地方環境事務所は、一昨年10月に熊本市に設置され、環境保全対策、廃棄物・リサイクル対策、国立公園管理、及び野生生物対策等の業務を所管し、九州・沖縄全域を管轄しています。

今日の環境問題は、地球温暖化に代表されるように、地球規模でかつ回復までに多くの努力と時間を要するものであり、これら諸問題の解決のために、事業活動や家庭生活など、あらゆる場面での一人ひとりの行動の見直しが求められています。

緊急の課題としては、日本が京都議定書で約束した温室効果ガスの削減目標（-6%）を、各界・各層の協力のもと、あらゆる手法を動員して達成しなければなりません。

そのためには、環境保全を持続可能な取組みとするための意識改革、すなわち環境教育が今後最も重要な課題の一つであり、事務所としましても業務の大きな柱として取組みを進めていくこととしています。

2005年に承認された「ESD（持続可能な開発のための教育）の10年・

国際実施計画」の中では、「地域に根ざした活動」や「教員養成教育の重要性」、また、「市民参加のプロセスの重視のためのしくみづくり」などが求められており、専門知識を有する環境カウンセラーの皆様の活躍の場が広がることで、これらの課題の実現のために大きく貢献するものと期待されます。

また、九州地方環境事務所では、様々な主体の連携・協働により環境全般の保全活動を活性化することを主な目的として、「環境パートナーシップオフィス」を平成19年度に開設予定であり、この業務を推進する中で、環境カウンセラーの皆様にも積極的な参画をお願いしたいと考えております。

貴協会の益々のご発展とご活躍を祈念致します。



トピックス

環境フェア in たがわ 終える

2000人の市民で溢れた！

去る11月4日（土）、福岡県地球温暖化防止活動推進センターと田川市共催の一大環境イベント「環境フェア in たがわ」が田川市の黄金が丘の体育館で開催されました。

ガラポン、任天堂DS 2台をはじめ素敵な景品をみんな持って帰った。主催者の福岡県地球温暖化防止センターと現地推進員アドバイザーの植木がダブって買ってしまった全て“倍の数の景品”。ばんざあ〜い。以下、取り組み内容を紹介します。

【ガラポン抽選会】空き缶 10 個で抽選 1 回

任天堂DS 2台、一輪車 5台、デジバア 6体 など大判振る舞い！

ソーラーカー



【エコカーフェア】低公害車やハイブリットカー、電気自動車、天然ガス自動車、LPガス自動車などの展示試乗で楽しみました。来る予定だった燃料電池車が来なかったのが残念。

【工作教室】・風車を作って発電を体験、発光ダイオードが光った！

- ・ 太陽光エネルギーを電気に換えて走るソーラーカーの工作を通じて、自然エネルギーの利用方法を学びました。

【かえっこバザール】大盛況！ 今後、学校などで定期的にやりたいとの声も・・・。

かえっこバザールとは、子ども達に使わなくなったおもちゃを持ち寄ってもらい、物々交換のお店（かえっこショップ）を設け、子どものお金「かえるポイント」を使ったお金のいらぬ子どもの遊び場です。

かえっこバンク

①おもちゃを査定 → ②かえるポイントを決定 → ③ポイント分のスタンプをカードに押す

かえっこショップ

①ポイントごとに値札を付けて籠に分ける → ②ショップに並べる → ③かえるポイントと交換

【環境パネル展示&クイズラリー】

環境全般のことや温暖化や省エネについてのパネルでクイズに挑戦しました。

【リサイクル自転車の抽選会】

田川市職員組合現業評議会のおにいさん方が、ボランティアで粗大ごみとして出された自転車の部品を寄せ集め再生した自転車を、希望者に抽選で5台プレゼントしました。



【まだまだ、たくさんの展示・出品】

- ★日本下水道協会 公共下水道の仕組み模型展示
- ★国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所 啓発コーナー
- ★フロン回収推進協議会 普及啓発コーナー
- ★九州電力(株)田川営業所 省エネ住宅機器PRコーナー

会 員 自 己 紹 介

（名簿の順に4人ずつ紹介してゆきます）

川口 進（かわぐち すすむ）です。

前原市

北九州市小倉生まれの48才。

環境カウンセラーには平成14年度に登録され、「食と農」という切り口で環境問題を考える取り組みを行っています。

本職は福岡県の農業改良普及指導員として、農業技術支援はもちろん、農産物直販所、学校給食などの地産地消の支援等、農家と消費者を結ぶ仕事にも力を入れて農業振興に取り組んできました。16年度から県庁になり、各農業改良普及センターの活動支援等を行っています。

農業のいろいろな問題を解決するには、消費者をいかに「地元農業の応援団」にしていくかがカギを握っているという思いから、「農業を大切に作る時代づくり」をモットーにがんばっています。



北森 成治（きたもり しげじ）です。

春日市

先日、熊本市の山里の中学校（全校生：66人）で、「科学実験の教室」の講師をしていたら、「先生、関西弁ですね」と言われ、なかなか言葉のなまりは、抜けないものと考えさせられました。

生まれてから、福岡に来るまでの30年間、関西で過ごしました。当然、関西弁の世界で過ごしたわけです。大学は、当時(昭和38年頃)、岩波新書から「井本稔著—プラスチック」が出版され、この本に影響され、高分子化学方面に進みました。

福岡では、福岡県保健環境研究所(旧：福岡衛生公害センター)で、他の部署にも転勤せず、丁度30年間勤務しました。公害から環境へと、問題が移り変わっていくのを、仕事を通じて、肌で感じて過ごしたような気がいたします。

現在は、(財)九州環境管理協会で「小・中学生対象の科学実験」と「エコアクション21」の仕事のしております。また、九州産業大学及び福岡教育大学で、非常勤講師を務め、「環境関連法規」「環境と生態学」等の環境関係の講義を教えています。若い学生の人たちと、接触し、レポート等を読んでいると、いろいろなことを教えられます。

我が家では、五匹の猫（いずれも雄）に囲まれ、毎日心を癒しております。

熊井 一博（くまい かずひろ）です。

北九州市小倉南区

私の自己紹介記 テーマ～「今まで、そしてこれから」

北九州で生活するようになって、「何年になるだろうか？」と手帳の年表を見ながら人と話す機会が多くなりました。

皆さんもこのような体験があると思いますが、「この四十数年を」鉄鋼メーカーに勤めていましたが、田舎で出生した私としては四十数年の永い年月の過程は、現在に至り、よりいっそう田舎の生活と自然の中でのすばらしさを、感じている今日です。

一定期間の人生を終えて第二の人生スタートに至り、当然のように順番がくる町内の世話役と、以前からの人間関係もあって、必然的に環境へのあぜ道を歩み、足を進め今日にいたりしました。

現在は、地域内の小さいボランティアグループによる、小学校、市民センター、地域行政の助勢を兼ねた活動の現況が七年目です。

関連して、北九州市環境ミュージアムでの環境学習サポーターとしての世話役活動、と学習を兼ねた昨今です。

環境カウンセラー一年生ですが、皆さんに遅れないように、地域社会の貢献、自己研鑽を蓄積していきたいと考えています。

まづは、社会的順応な人づくり、仲間を一人ひとり確実に増やすことが当面の目標であります。

大きな目標を持って実行できません、私のできる範囲での活動を重点に今後も続けていきます。

どうぞよろしく、皆さんのご指導をお願いし、私の自己紹介といたします。

岩熊 志保（いわくま しほ）です。

遠賀郡芦屋町

大学では昆虫の行動生態学を学び、その後、生物調査会社に就職、そこで昆虫調査および環境教育を担当しました。平成 17 年に出産を期に仕事を辞め、地元である太宰府市で、生き物を通じた環境教育を行う「まほろば自然学校」を立ち上げました。今までは「いきものふれあい講座～昆虫編～」、「夜の昆虫採集」、「冬のいきもの観察」「昆虫標本展 ～太宰府の昆虫たち～」など昆虫を中心とした活動プログラムを企画し実施してきました。今年は鳥類などのプログラムも組む予定でいます。また太宰府市に生息している生き物の記録を残すこともライフワークとして行っております。



「いきものふれあい講座 2006～昆虫編～」から
今からの未来を担っていく子ども達がきちんと

と生き物や自然のことを知って、興味を持ってもらうことが大切だと考えております。自然と上手に付き合える人を育て豊かな自然を保全する。これをモットーに活動を展開しております。

まだ立ち上げから2年、しかも子育ても真っ最中の私ですが、できることを無理なく、自分も楽しみながらやっています。

事務局だより

◆環境カウンセラー活動実績等報告書など提出のお知らせ

今年も「環境カウンセラー登録制度実施規程」により提出する諸届けの提出時期が来ました。用紙及び内容等は環境省 HP 又は松井環境教育担当理事までお問い合わせ下さい。

- ・ 「環境カウンセラーの活動実績等の報告」（第9条、全員提出）締切2月28日
当報告に該当する教会の事業活動を1月下旬までに報告します。活用して下さい。
- ・ 「環境カウンセラー登録更新の申請」（第11条、3年が経過しようとしている者）
締切2月28日
- ・ 「環境カウンセラー登録簿の記載事項の変更の届出」（第14条、該当者のみ）随時

◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。平成18年度会費未納の方は至急納入してください。振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」
記号17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

◆準会員の募集

身近に当協会の趣旨に賛同される方がおられましたら「準会員」としてご入会されるように勧誘してください。定款等は事務局よりお届けします。

◆ホームページ及びメーリングリストの再再開

ホームページの掲示板、改良して再開しました。どんどん情報発信してください。
また、メーリングリストも稼働中！会員一覧にアドレス載せている方で、メールが届いていない会員さんは連絡下さい。（K.uekil@crocus.ocn.ne.jp）
また、会員名簿送ります。変更・ミスも連絡下さい。よろしくお願い致します。
(文責：植木)

特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会 会報 第7号

発行日 平成19年2月1日

発行 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会

発行責任者： 依田 浩敏 編集責任者： 植木 康太

事務局：武藤 博昭 〒818-0110 太宰府市御笠 1-6-18

TEL/FAX 092-925-5344

<http://fukkan.sa-ba.jp/>